

瀬戸山の風

田平教会報 2013年 5月号 第348号

発行：田平教会広報委員会

住所：長崎県平戸市田平町小手田免19

発行責任者：市瀬輝秋

メールアドレス：catholic_tabira@water.ocn.ne.jp



復活徹夜祭のミサに与る
田平教会の信者さんたち

2013年 年間努力目標 「家庭での信仰教育を見直す信仰年にいたしましょう」

散

歩

道

【もの芽】

「うつくしいこのそらを あいらしい
このはなを うかんでるしろいも…
ほらきみもわかるでしょう かみさまが
わかるでしょう♪」

さわやかに風薫る過ごし易い季節
となつて来ました。自然界が一段と活
気がみなぎり、すべての芽が萌え出で
美しく変化して行く姿に感動を覚え
つつその素晴らしさを満喫しています。
各地でイベントも目白押し、時には
その中に身を置き、様々な出会いに触
合うのも心のリフレッシュになるの
では…とても思いつつ。

いつものころか、自然に詳しい仲間
に誘われ、春の自然巡りに出かけた事
がありました。その一つ、野焼きの後の
草原には焼け残りの古株が新しい生
命を萌え出させていました。其れと共
に、冬の間枯れてしまったかのような
草も青々と新しい若芽が生えて、春の
草原は風薫る緑の草原に蘇っていま
した。

眼下に見えるきらきらと輝く碧い
海とのコントラストは圧巻で、自然の
偉大さ、その美しさは、神様から癒し
の処方箋を戴いたような気がしまし
た。そして、自分の小ささにも気づか
れ…。

それにしても、あの燃え盛る炎の中
で野の生き物たちはどうやって難を
逃れているのでしょうか？ずつと疑
問に思っていた謎が先日BS番組
で解きました。どんなに炎が燃え盛ろ
うとも地表近くは燃えないのだそう
です。昆虫も地表近くの枯れ草の中に
身を潜め、炎が通り過ぎるのをじつと
耐え、焼け跡から飛び立つ様子が映さ
れていました。焼け残った株や地中の
根は命を絶やすことなく神様から与
えられた時を従順に待っています。

春うらら、気がつかない世界に於い
ても神様の豊かな愛が注がれていま
す。もちろん一番大切なあなたにも。
のぎく

信徒総会だより

【4月21日(日)】

5月の努力目標

『聖母月の行事に積極的に参加しましょう』

5月は、聖母月です。
週日は午後6時から、主日のミサ(繰上げミサ)ではミサ前にロザリオが唱えられます。5月25日(土)には、聖母行列も行なわれる予定になっています。たくさんの方が参加し、聖母月の信心が実りあるものになるように努力しましょう。

一、信徒総会報告

◇日時：4月21日(日) 9時のミサ後

◇場所：信徒会館

◇出席：145世帯

◇議長：今村達也(横立)

《議案》

- 1号議案・平成24年度行事経過報告：了承
- 2号議案・平成24年度一般会計報告：了承
- 3号議案・平成24年度建設委員会収支報告：了承
- 4号議案・平成24年度一般

会計その他の会計監査報告

- 5号議案・平成25年度行事計画(案)：原案可決

- 6号議案・平成25年度一般会計予算(案)：原案可決

- 7号議案・経済問題評議員推薦投票：推薦投票の結果、今村敏雄(横立)、田川寛仁(牟田)の2名を推薦決定

- 8号議案・平成24年度教区費収支報告：了承

- 9号議案・平成24年度信徒会館使用状況報告：了承

- 10号議案・各団体・活動グループの行事報告及び会計報告

- 11号議案・小教区評議会委員推薦投票：推薦投票を行わず役員の留任を満場一致で採択

- 12号議案・教会施設整備修繕計画：司祭館の外壁及び玄関部分の修繕について報告。また、信徒会館の1F会議場に仕切りを設け、会議スペースを設ける事が出来るようにする件について：了承

- 13号議案・その他

- (ア)聖母月の行事日程について：5月25日(土)午後6時15分集合、20分スタート
- (イ)教会維持費の件について：来年度以降値上げを検討

(小教区評議会にて精査し、来年度の総会にかける)

(ウ)教会掃除日程について：5月19日(日) 9時のミサ後に開催予定

(エ)墓地規定の一部変更について：承認

- 14号議案・教会各組織の新役員紹介

教会維持費の納入について

建設費(信徒会館)の納入が今年度の6月期で完納になります。

ただし、月遅れ等で未納の方につきましては、以降も支払いが残りますので、地区評議員及び教会会計にご確認願います。

《月払い例》

4月期・・・5,000円
5月期・・・5,000円
6月期・・・4,200円
7月期以降・・・2,200円

《年払い例》

1期・・・34,000円



【5月以降の掃除割当表】

5月5日：内(大塔) 外(横立)
12日：内(万場) 外(瀬戸山)
19日：内(江里山) 外(五島ヶ原)
26日：内(以善) 外(外目)
7月2日：内(三瀬) 外(荻田)
9日：内(牟田) 外(坊田)

典礼委員会だより

☆聖母月の典礼

- ①ロザリオ：主日は繰上げミサ(土)及び9時のミサ(日)開始30分前から始める。週日は7日から午後6時より始める。

- ②聖母行列：5月25日(土)午後6時15分集合、20分出發聖堂周囲を行列する。

二人の言葉

主任司祭 岩村 知彦

日曜日、一人の男の子が近寄ってきて、「神父様、手紙」と言っ、小さくたたんだ紙をくれました。久しぶりだったので、楽しみにして、開いて読んでみました。「神父様、おかしをありがとう。教会だいすきです。」と書かれてありました。この心は、いつまで続くのでしょうか？少し大きくなると何故失われてしまうのでしょうか？

今回、東京に出て、一人の老婦人に出会って、一つの示唆を与えられたような気がします。80歳近くになる、その老婦人は、「マテオ・リッチについて知りたい」と言い始めました。教会での悩みがあるみたいで、その為、色々の本を読んでいるうちに、日本に信仰が伝わった頃の様子に興味をわいてきたようでした。長年ピアノを教えて、生活を立ててきた人ですが、知識を得たいという心は、失われずに保たれてきたようです。

子供の教育は、親の責任で、第二バチカン公会議は、その公文書の中で、「家庭は、信仰の最初の苗床です」と行っています。学ぶことは、真似ることから始まると言います。親は、子供が自分の背中を見て、何を学ぶか、何を学ぶことが出来るのかをいつも問わなければならないと思います。その為に必要なことは、自分が忙しいという理由だけに納得して、学ぶ意欲をなくしてしまうことだと思えます。大変だとは思いますが、親の一番の思いは、子供が健全に育つと言うことではないでしょうか。

何かを求めて、特に生きること、よりよく生きることに関することを求めていくならば、誰の姿も生き生きとしたものになるはず。それは、何にも優る良い模範です。信仰は、体験が役に立つ知恵です。求めていけば、深くなり、広くなります。特に今は、親が唯一教えることの出来る知恵だと思います。模範を示しながら、先祖から伝えられてきた大切なものを、子供に確かに伝えたいものです。

平成25年度 田平小教区役員名簿

☆小教区評議会

会長	(主任司祭)	岩村	知彦
議長	(信徒代表)	山内	誠司
副議長	(典礼委員長)	今村	國男
副議長	(婦人会長)	濱崎	眞由美
会計	(一般会計)	山内	忠
会計	(評議会会計)		
書記	(広報委員長)	市瀬	輝秋
委員	(婦人副会長)	樫山	加奈子
委員	(経済問題評議員)	今村	敏雄
委員	(経済問題評議員)	田川	寛仁
委員	(経済問題評議員)	道下	和弘
委員		牧野	和美
委員		今村	弘
委員	(墓地委員長)	田川	忠義
委員	(育成会長)	川崎	聡
委員	(修道院代表)	シスター	赤迫
委員	北地区評議員代表		
委員	南地区評議員代表		

☆地区評議員

万場	井元	秀敏
以善	谷口	國光
大塔	友永	義則
外目	川崎	聡
横立	今村	國男
江里山	谷口	秀紀
五島ヶ原	山内	文雄
瀬戸山	大木	一
荻田	山崎	保子
三瀬	浜道	健次
牟田	田川	謙二
坊田	西村	友美

☆会計監査

監査員	濱崎	哲次郎
監査員	道下	恭一

☆経済問題評議会

評議員	(教会維持費担当)	山内	忠
評議員		今村	敏雄
評議員		田川	寛仁
評議員	(教区費担当)	道下	和弘

☆育成会

会長	川崎	聡
副会長	田川	伸一
副会長	原口	正人
会計	古里	真二

☆婦人会

会長	濱崎	眞由美
副会長	樫山	加奈子
会計	田川	純子
書記	市瀬	好子

☆クルシリオ会

会長	辻村	留雄
副会長	谷口	秀紀
会計	烏山	良子
書記	松下	幸子

☆墓地委員会

委員長	田川	忠義
副委員長	谷口	秀紀
副委員長	高野	幸夫
会計	牧野	和美
書記	山口	郁彦
委員	瀬上	宏一
委員	尾高	力雄
委員	(経済問題評議員)	4名
委員	(小教区評議会)	2名

☆召命委員会

委員長	山内	誠司
副委員長		
会計	末永	静香
顧問	嘉松	茂幸
委員	(経済問題評議員)	1名

☆木曜会

会長	谷口	國光
副会長	樫山	順一
会計	山内	弘文

☆典礼委員会

委員長		今村	國男
副委員長	(経済問題評議員)	田川	寛仁
会計		今村	慶子
委員	(修道院)	シスター	永谷
委員	(修道院)	シスター	生田
委員	(婦人会)	樫山	加奈子
委員	(クルシリオ会)	松下	幸子
委員	(育成会)	原口	正人
委員		田川	隆明

☆育英会

委員長	橋本	隆
副委員長	道下	和弘
会計	谷口	國光
書記	横岩	勝
委員	(経済問題評議員)	1名

人物春秋

【帰天】なし

【洗礼】なし

【結婚】—

☆4月20日

前川 和幸(平戸市)
田川 加代子(外目)



【転出】

○3月27日 相ノ浦教会へ
テレビア 橋口 明美

残された一筆



信者に・・・

芦屋から夫婦で来ました。
レンガ造りの建物とステンドグ
ラスの美しさに感激しました。

信者になれそうな気がしました。

2013・4・7

H & Kさん



ねがい・・・

久留米より参りました。

何も目的もなく来ましたが、と
ても静かで、悩みが吹き飛ぶよう
な気になりました。

病気の人が元気になるように
に。

皆が幸せになりますように。

2013・4・10

みゆきさん



改めての感激！

昭和36年から41年までの5年
間、隣接地にある平戸種畜場に勤
務しており、アンゼラスの鐘の音
と毎日生活していました。

恥ずかしながら会堂内部を見た
ことがありませんでした。

長崎から朝早く出て来ました。
すばらしさに改めて感激です！

2013・4・12

長崎市 Mさん

※これらの文章は、田平教会を訪
れた人が、備え付けの感想ノート
に思い思いに書き記したものを、
掲載したものです。

御礼

牟田地区の辻村留雄様より、故
マリア辻村ミスノ様の香典返しと
して、田平教会に寄付をいただい
ております。誠にありがとうございます。

田平教会信徒一同

御礼

長崎市の長崎純心聖母会・ロザ
リオの聖母修道院様より切手代と
してご寄付を頂いております。

シスター今村フジエ様からも広
報委員会にご寄付を頂きました。
誠に有難うございました。

広報委員会一同

お詫びと訂正

●お詫びと訂正

平成25年4月号(P6)の婦
人会の新役員さんの紹介で副会
長の榎山加奈子様のお名前を誤
って掲載しておりました。誠に
申し訳ございませんでした。

《訂正内容》

正・・・榎山加奈子
誤・・・榎山加奈恵

●信徒総会資料の訂正

信徒総会議案書の中に誤った
記載がありました。関係者の方
にはご迷惑をおかけしましたこ
とをお詫び申し上げます。なお、
訂正内容以外にも誤記載・誤字
等ありましたことを重ねてお詫
び申し上げます。

《訂正内容》

○P3・平成24年度決算報告書
【収入の部】過年度維持費・増
減の欄の記入漏れ

正・・・8,900

○P6・建設委員会収支報告

正・・・竹山基金へ返済

誤・・・教区へ返済

○P8・平成25年度行事計画案

【5月期・教会内外掃除】

正・・・5月19日

誤・・・5月26日

【年月】

正・・・H26・1月

誤・・・H25・1月

○P19・典礼委員会会計報告

【支出の部・合計欄及び収支・

支出欄】

正・・・106,857

誤・・・100,857

【収支・残金(次年度繰越金)】

正・・・4,281

誤・・・10,281

活動報告 (4月)

- ◇ 2日(火)・レジオ・マリエ
- ◇ 4日(木)・木曜会
- ◇ 5日(金)・クリシリスタの集い
- ◇ 8日・9日・会計監査
- ◇ 12日(金)・小教区評議会・予算決算委員会
- ◇ 14日(日)・クルシリヨ奉仕作業
- ◇ // ・婦人会総会
- ◇ 21日(日)・信徒総会・新旧役員交代会
- ◇ 25日(木)・典礼委員会
- ◇ 26日(金)・教会報紙面作り
- ◇ 27日(土)・教会報印刷・綴じ込み
- ◇ 28日(日)・教会報発行



5月の祝・祭日

復活節

- * 2日(木・記念日) 聖アタナシオ司教教会博士
- * 3日(金・祝日) 聖フィリポ 聖ヤコブ使徒
- * 5日(日・主日) 復活節第6主日・世界広報の日献金
- * 12日(日・祭日) 主の昇天
- * 14日(火・祝日) 聖マチア使徒
- * 19日(日・祭日) 聖霊降臨の主日
- * 26日(日・主日) 三位一体の主日
- * 31日(金・祝日) 聖母の訪問



社会の窓（第百八十三話）

今日まで・そして明日から

謹啓 春うらら、新緑と青空と平戸つつじが目美しく映えています。皆様におかれましては、お元気で過ごしのことと拝察し、心よりお喜び致します。

当方も家族共々元気で何とかやっています。ご安心ください。

私事、3年前60歳で無事定年退職を済ませました。しかしながら、借金だらけの国の財政事情もありこのところ年金制度にかなりの支障が出てきているのは皆様ご周知のとおりです。ついてないことに、私たちから65歳までの5年間基礎年金が出ないことになりました。

このこともあり、国は（初期）高齢者雇用促進に関する法律を整備しました。要するに、働けるうちは働いてできるだけ自力で生活をなささい、ということでしょうか……。そこで私も再任用制度（年齢構成が若い職

場には高齢者も必要？）を利用し、そのまま平戸市にある母校の長崎県立猶興館高等学校に採用していただきフルタイム勤務で3年間で終了しました。年金0で給料は半分近くになりましたが、それでも大変ありがたいことだと感謝していました。

「人はパンのみにて生きるにあらず」とは聖書の中の御言葉。当然ながら、私たちの日常生活にお金はとても大事なものです。しかしながら、それ以上に精神的な部分でより満たされるものがなければ、人は生活の充実感や人生の幸福感が得られません。自分のためになるのはもちろんですが、他人のためにもなり、社会とのつながりをもつこともとても大切なことです。

昭和50年に東京の大学を卒業し、中五島高校に新任をして以来・北松農業・上五島・長崎工業・松浦・猶興館高校と歴任してまいりました。大したこともできませんでしたが、私なりに生徒たちのため頑張ってきた

した。ふり返えれば、冷汗一斗の思いです。が、多くのいい教え子たちにも恵まれ、素晴らしい財産ができました。正直なところ、くたびれもしましたが、いい仕事でした。

もうきつぱりと引退すべきかな？……と思い悩んでいたところ、今年度も続けて再任用で週2日だけ母校に勤務することになりました。「倫理」と「現代社会」の授業です。いっぺんに仕事を辞めてぶらぶらというのもよくないので、こちらも大変にありがたく思います。

休みの日には永い間の疲れをゆっくり癒させてもらいながら、他方で平戸市陸協での地元や県の大会の役員や審判に加え大島村の実家の管理や行事への参加・学校の花植えや除草作業のボランティア・畑仕事や魚釣り・読書や執筆・音楽や映画の鑑賞・小旅行などいろいろやりたいことがあります。

なお、今秋の平戸市議会議員への立候補も以前から考えなか

ったわけではありませんが、年齢的に遅すぎるし、たださえない選挙で大島や田平の現職議員の足を引っ張ってはならないと判断し、悩んだ挙句断念しました。私なりにこれまで学校の仕事の他に永い間教職員団体やPTAの役員・地域の役員（副区長・体育部長・育成会会長）など皆さんのお世話役をしてきましたので、最後に地元の皆さんのためになるのではないかと密かに……が、家族にも迷惑がかかるのは事実です。

ということで、去る3月末日をもちましてフルタイム勤務での都合38年間に及ぶ教職生活が何とか終わりました。本日、友人・知人の皆様に近況報告を兼ねてのお知らせをさせていただきました。

末筆ながら、皆様方のご多幸をお祈りいたします。今後ともどうぞよろしくお願い致します。遊びにおいでください。 敬具

平成二十五年四月吉日

平戸市田平町在住 橋本 隆



復活徹夜祭

3月30日(土) 午後8時から復活徹夜祭のミサが行われました。
ミサの後には、イースターエッグが信者の皆さんに配られました。



信徒総会がありました



4月21日(日)に信徒総会が開催されました。総会議長に選任された横立地区の今村達也さんのスムーズな進行により、各議案が討議され、盛会のうちに終了することができました。今村さんお疲れ様でした。



編集後記

朝、ウグイスの声が朝日と共に目覚めさせてくれます。鳥のさえずりは、ウグイスだけでなくヒバリも何処を飛んでいるかは判らないけれども、上空から心地よい声を聴かせてくれます。

年度の変わり目は別れと出会いの季節とも云われます。小鳥たちも新しい出会いを求めてさえずっているのかも知れません。私たちも学校で、職場で新しい仲間たちと学んだり、働いたりします。

教会も新年度が始まりました。信徒会館建設費納入も6月で終わる予定です。献堂百周年も数年後に控え、今一度、信仰を表に現す時期ではないでしょうか。

K・M

